

はじめに 北設楽郡医師会長（ひらい診療所長） 関本 衛 東栄町大字下田字平井 34 TEL0536-77-0733



“はじめに”としてはそぐわない内容かも知れませんが、せっかくの機会でありますので紙面を拝借させていただきます。

卒後 35 年間の公的病院での勤務を終了し、平成 16 年当地に開業いたしました。当初、施設名として、少数スタッフによる地域に密着した施設という意味で“ひらい診療班”にて県衛生部に申請いたしましたが、（前例が無いから）というお役人の常套句によって、却下されてしまいました。この理由は全くの勉強不足で、第 2 次大戦後数年間でしたが復員軍医、看護婦による“下田診療班”が存在し、まさにその跡地に当診療所を開設したのです。せめてもの抵抗の証として、玄関横のメイン看板には“ひらい診療班”と表示しています。従事職員 3、5 名、待合室は 5 名で一杯になるほどの小規模施設です。地域密着をモットーに活動しております。勤務医時代は消化器外科を専らにしておりましたが、現在専門科の診療はほとんど無く、専門外である内科、泌尿器科、整形外科、はては不遜にも小児の診療まで手を出してしまっています。しかし、開設以来 5 年間これといった大きな医療過誤もなく過ごしてこれました。これも、東栄病院の若い先生を始め近隣の医療関係者によるサポートのおかげだと思ひ。感謝いたしております。

地域密着をモットーとするからには当然、在宅医療は当施設の中心的事業であり開設以来努力しています。この分野においては 63 年間の人生経験と老獪なテクニック（下賤な言い方では、年増女の手練手管）を使い、患者さんや家族との良好なコミュニケーションが構築できていると自負しております。

最近の雑感、若き頃マルクス、カミュ etc を読み人生の意義を思考した経験がありました。今 60 歳半ばになり、同じ問いかけをしてみました。その答えが“患者さんと向き合っている時に一番幸せな感じになっている自分を見つけた”ことでした。逆に言えば、自分は患者さんによって生かされているんだと・・・。

開業医訪問 茶臼山厚生病院 TEL 0536-22-2266

院長 國松尚一



当院は、16年前、豊橋市成田記念病院のバックアップのもとに「透析センター」を併設しました。

当初、患者様は 10 数名でしたが、現在約 100 名の方に利用していただいています。透析機器類は最近全

てリニューアルし、ソフト・ハード両面で更なる充実を目指しています。透析関連ニーズに対する当院の取り組みは、

1 入院関係では、長期・要介護透析患者様のニーズへの対応です。

このニーズは社会問題の部分もありますが、ご家族、行政と密に連絡を取り合いながら進めています。利用者は当地域のみならず、豊川・豊橋・浜松・名古屋方面からと広範囲に及びます。

2 通院透析患者様への送迎サービスのニーズ

透析治療は長期化しますし、また、地域性からかなり遠距離より通院される方が多数みえます。通院に要する労力、コストは大変なものです。

当院は、作手、設楽町、東栄町を含む新城地方全域の送迎サービスを実行しています。更に7月からは「自力歩

勤務医訪問 新城市民病院

小児科部長医師 影山里実



4 年前より当院小児科に勤務する影山里実と申します。元々は名市大医局員でしたが、故郷に戻るにあたって医局をやめました。

私は生まれも育ちも新城市内、幼児期には田口町にも 3 年間住んでいました。コテコテの地元民として、今後も微力ながら地域医療に貢献していきたい所存であります。

さて話は全く代わりますが、私は大学時代ワングル部に所属していました。4 回生での最後の夏合宿には「大雪山連峰」と「南アルプス南部」の 2 パーティーに別れ、私は後者を選びました。（先日多くの遭難者の出た）大雪山連峰を選んだ後輩によると、「景色は美しいが、整備された水場が全く無く、とにかく飲み水確保が大変だった。雪渓の氷を溶かして水を作るのだが、使用后と思しきティッシュペーパーが浮遊したりして最悪だった」と、（村上春樹風に言う）ダイハードな山行だったようです。（南アルプス南部も十分ハードでしたが。）将来は一人娘と後立山連峰辺りを縦走するのが私の密かな夢ですが、昔取った杵柄・・・と自分の体力を過信しないよう気をつけたいです。

茶臼山厚生病院

行困難者」「要介護者」向けに「車イス仕様送迎車両」を導入し、可能な限り「在宅通院透析」を支えていきたいと思っています。

3 CKD(慢性腎臓病)外来のニーズ

CKD(慢性腎臓病)は「心血管疾患」「末期腎不全発症」の重要因子です。腎臓専門医による管理が必要です。この外来はすでに病診連携の一端として当医師会の先生方にも利用していただいています。定期的に当院のCKD外来にも利用していただいています。定期的に当院のCKD外来で予約受診され、日頃は「かかりつけ医」で受診していただくようにしています。

透析診療時間

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前の部	8:45～	9:00～	8:45～	9:00～	8:45～	9:00～
午後の部	～22:30	～15:20	～22:30	～15:20	～22:30	～15:20

詳細は茶臼山厚生病院のホームページをご覧ください。



↑茶臼山厚生病院 透析センター全景

新城市民病院 小児科

小児科診察室



子供たちが安心して診療を受けられるような環境や子育て中のご家族のファミリークリニック機能ももつようにしています。

出前講座

要望があれば幼稚園や保育園等に出向いて予防接種や手洗い等の話もします。



子育て支援

年に2回、市内の公園や児童館で病院スタッフと子育て応援広場を開いています。



みんなの広場

しんしろ子ども劇場

TEL・FAX 0536-23-4449



しんしろ子ども劇場は、生の舞台芸術を鑑賞する活動を中心にして地域での「子育て・親育ち」を互いに支え合う非営利団体です。この地に育つ子ども達が優れた文化を身近で味わえるようにと願い、24年前に設立され、仲間作りとその継続を大切にしているため会員制をとっています。会員みんなで選んで観る作品は、舞台劇、人形・影絵劇、芸能、音楽など多様なジャンルにわたります。親子や友達と一緒に観ることで想いを語り合うこともでき、楽しみが広がります。

また、自主的な活動として、子ども達が考えてお店を出し、学年を超えた仲間で行う「子どもまつり」、新4年生を迎える「高学年わいわい合宿」、夏のキャンプなどがあります。どれも会員の知恵と力を出し合っています。こうした活動で親も自分の子どもだけでなく、他の子どもに接する経験ができ、それぞれの子の個性や良さに気付く機会になります。これが「子育て・親育ち」の場である所以です。

若い世代の方に広く知っていただくために月1回読み聞かせとおしゃべりの会「きらりんひろば」を始めました。9月4日には、海外で高い評価を受けてきた「シアタートライアングル“FOUR SEASONS”」(人形芝居燕屋)の世界最終公演を迎えます。

親も子ども、この地域で気持ちよく過していけるように、これからも多くの仲間と力を合わせて活動を続けていきたいと思っています。